

# くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校  
学校だより 第35号  
文責 校長 西村羊治  
令和6年8月28日



## 前期後半スタート！

夏休みも終わり、本日8月28日(水)より前期後半がスタートしました。暑い夏がまだまだ続きますが、夏休みの生活から少しずつ学校生活にライフスタイルをスライ



令和6年度 合志市立西合志第一小学校の宝である 子どもたちと職員

ドさせて、「早寝・早起き・朝ご飯」を継続実践して欲しいと思います。

「さあ、いかがだったですか？夏休み」私は、夏休み前に「命」を守ること、子ども達には『死なないでください』といいました。(変な言い回しなので苦笑いしている高学年の子もいましたが・・・)、またどんなことでもいいので「なぜ」という疑問を持って自分で調べたり勉強したりして、夏休みだからできることを「好奇心」を持って、やらされる勉強ではなく「自分がやりたい学びをしてみてください」と話をしました。まさしく主体的な学びです。

校長の私は、オリンピック選手を応援すること、本を読むこと、右肩を治療することなどに取り組みました。好奇心をしっかりと持って学ぶとまではいきませんが、どの国のオリンピック選手であろうが、頑張っている姿から感動を得たり、本を読むことで小説の世界に入り込んだり、知らない言葉を知れたり、手術をすることで、健康であることは、当たり前ではなく奇跡的で、とてもありがたいことだと再確認できました。(来年度からはゴルフができるようにリハビリ頑張ります！私事ですみません)

今年の夏も、全国では海や川での事故や交通事故等で命を亡くしてしまう人がいました。やはり一番大切なものは「命」です。私は2年連続で入院することとなってしまい、つくづく生きていること、自由に動けること、仕事ややりたいことができる幸せを感じています。世界に目を向けると戦争や飢餓で命を失う人がたくさんいます。その中に、たくさん子ども達がいることも目を覆いたくなる事実です。そのために戦争はいけない、戦争はしてはならないという教育が大切だと個人的に思います。「教育のすばらしさ」、場合によっては、「教育の恐ろしさ」もあるかも知れません。私は命を守る教育をしていきます。

## 合志義塾

夏休み中に、校区内の黒松にある合志義塾跡地に行ってきました。歴史と貫禄のある記念碑が建っており、砂利が敷き詰めである駐車場にはカタルパの樹が、4本植樹されていました。また、工藤左一や平田一十の写真と共に合志義塾やカタルパについての説明の立て札もありました。西合志第一小学校に勤めて

跡地に設置してある工藤氏・平田氏の写真



平田一十

工藤左一



記念碑

もっと早く地域のことを知っておくべきだったという後悔と、合志市の合生であるこの地に勤務でき、合生の歴史に少しでも触れることのできるありがたさを感じる日となりました。改めて合志市の先人の努力とすばらしさを考える良い機会となりました。この情報は、合志市のホームページにもアップしており、動画等で詳しく紹介してあります。機会があれば動画を見たり、実際に現地に行かれたりするののもいいかもしれません。